

『生産者と一体になったGLOBALG.A.P.団体認証取得 への取組について』



九州ブロックGAP推進シンポジウム

JA宮崎経済連 営農振興課 中村 博

【講演内容】

1. 取組みの経緯
2. やったこと
3. 感じたこと

【認証部会の内容】

1. JA宮崎中央 にら部会 29名
2. JAはまゆう ピーマン部会の一部 24名
3. JAえびの市 ピーマン部会 22名
4. JA尾鈴 ミニトマト栽培グループ 11名

他、関係各JA選果場及び本会青果センター

【産地の背景】

今回GLOBALG.A.P団体認証取得できた件については、いくつかのポイントがあります。

1. JAグループとして経営改善に繋がる運動を既に展開していたこと。

⇒平成21年度より所得アップGO！GO！テン運動を展開。

2. 生産者が「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に準じる栽培に取り組んでいたこと。

⇒生産部会が食品安全・環境配慮に関して高い意識があった。

3. 安定した売り場の確保を目指したこと。

⇒取組みに対して一定の評価が得られる環境があった。

【取組みの経緯】

(1)GAPの目的は「持続可能な農業の確立」・「農業経営の改善」

⇒生産面からの視点

(2)大手の量販店や食品メーカー等で国際水準の認証制GAPの取組みに対して一定の評価をする動きが出てきた。

⇒販売面からの視点



JA宮崎経済連としての方針

①取組みの理由

⇒生産者・JA・経済連が一体となって認証制GAPを取得するという産地体制を先んじて整備する。

⇒認証制GAP取得ノウハウ蓄積と人財を育成する。

②体制の整備

⇒JA宮崎経済連が主導して団体認証の体制を整える。

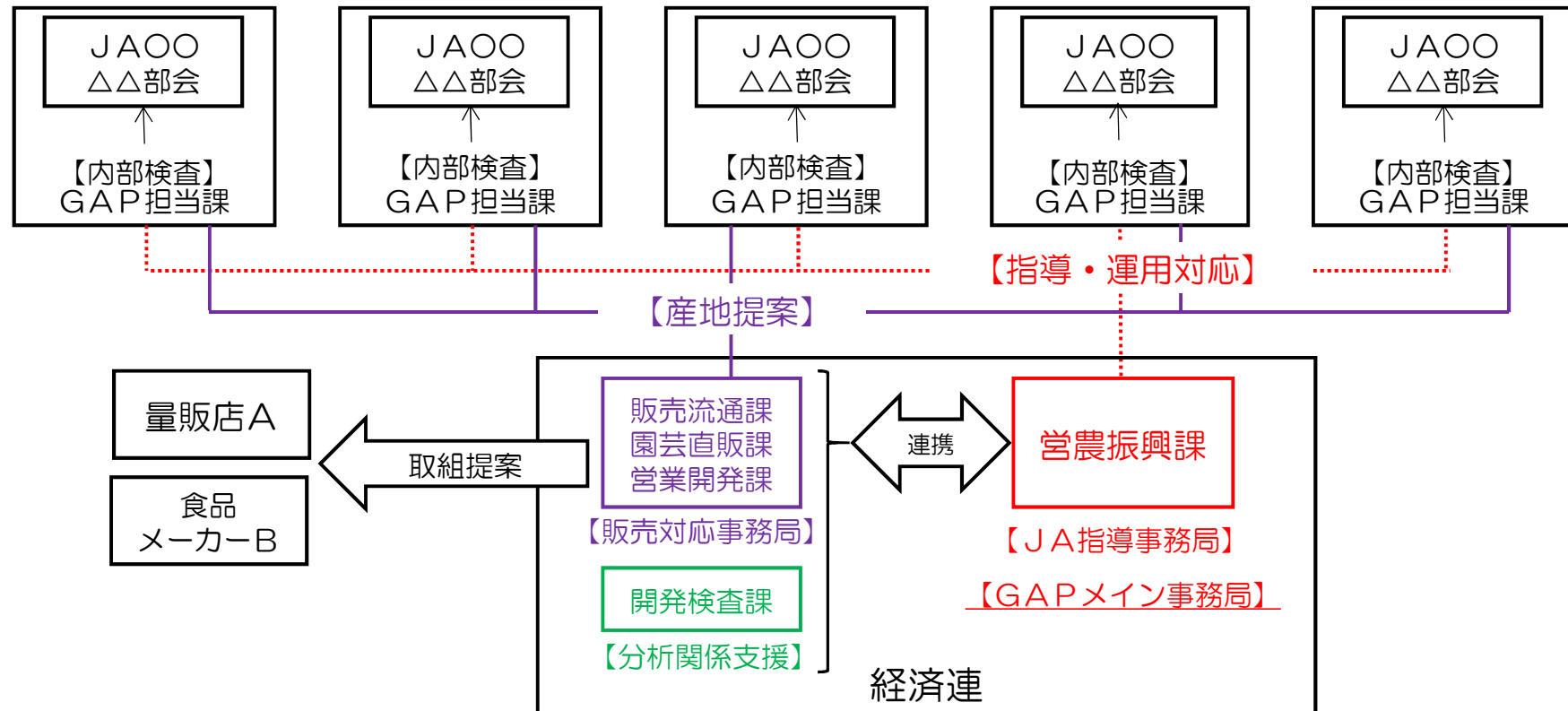
⇒運用ルールを統一することで産地負担を軽減させる。

⇒生産者・JA・経済連が行うこと等の役割分担を明確に区分する。

⇒経済連内における関係部署との役割分担をする。

【取組みの経緯】

体制イメージ



【やったこと】

GLOBALG.A.P.取得に向け、各部会生産者・JA・
経済連関係部署と協議を重ねた。

各生産部会・JA・経済連各部署毎との役割分担整理

各生産部会

⇒整理整頓・勉強会への参加・JA以外への出荷量把握
・肥料農薬の在庫記録・各種機器類点検 等

JA

⇒CPCCの関連事項の生産者指導・各JA選果場改善
・内部検査の実施 等

経済連

⇒全体事務局・CPCC/QMSの解釈と整理・検査員育成研修
実施・各種研修会の開催・内部監査の実施 等

それぞれが行うことを整理して取組むという【合意形成】が重要

令和元年6月にGLOBALG.A.P.取得に向けたキックオフ会議を実施

【やったこと】

GLOBAL G.A.P.の規格解釈研修・内部検査員・ 内部監査員研修の実施



現在、内部検査員：30名、内部監査員：12名
(経済連職員・関係JA職員含む)

全体進捗管理



全体的な進捗管理を1枚のシートにしたことで、

- ①関係者間で情報共有ができる。
⇒特に、経済連各部署間での情報共有ができる。
- ②各項目の進捗が一目でわかる。
⇒遅れていれば、余裕のある項目の人財を導入して遅れを取り戻す。



【やったこと】

各生産者毎の現状の把握

(GLOBALG.A.P.の取組みに向けた調査)

JA名() お名前()

○栽培に関してお尋ねいたします

1)栽培に使用される水について

①かん水や防除をされる際、どの水を使用されていますか？

かん水に使用する水
畑かん ・ 自宅の水道水 ・ 井戸水 ・ その他()

防除に使用する水
畑かん ・ 自宅の水道水 ・ 井戸水 ・ その他()

②農業機械の点検はされていますか？
自分(点検内容:) ・ 委託(点検内容:)

③季節労働者または臨時労働者がいらっしゃいますか？
雇用している ・ 雇用していない

④農作業に従事する方々は、定期的に健康診断を受けていますか？

ご自分… 毎年 ・ 何年か毎()年毎 ・ 受けていない
ご家族…()毎年 ・ 何年か毎()年毎 ・ 受けていない
…()毎年 ・ 何年か毎()年毎 ・ 受けていない
…()毎年 ・ 何年か毎()年毎 ・ 受けていない

アンケートを実施する事で、

- ①各生産者が要求事項に対してどこまで対応しているかがざっくりわかる。
- ②状況把握ができるので今後の取組みに関する時間の節約になる。
- ③アンケートを整理すれば「共通の課題」「各部会毎の課題」がみえてくる。

品目専用 ・ 共用(品目名:)

⑤以下のものは、どのように処分されていますか？

散布後の余った農薬
全て散布する(余らせない) ・ 廃棄(廃棄場所:)

散布後の余った除草剤
全て散布する(余らせない) ・ 廃棄(廃棄場所:)

期限切れの農薬
回収処分(JA ・ 行政) ・ 自分で委託 ・ その他()

農薬の空容器
回収処分(JA ・ 行政) ・ 自分で委託 ・ その他()

回収処分(JA ・ 行政) ・ 自分で委託 ・ その他()

⑤作物の生産、農作業において外部委託先がありますか？
ある(外部委託先:) 内容:) ・ ない

⑥圃場の周辺の状況を教えてください ※地図に御記入ください

○記入内容

- ・周辺作物名
- ・重油タンク設置場所
- ・水源位置(水道水・井戸水・その他)
- ・たい肥倉庫

参考例

The diagram shows a rectangular field layout. On the left, there's a box labeled '該当圃場' (Target Field). To its right, there's a larger area divided into sections. One section is labeled 'ハウスビーマン' (House Beman). Another section is labeled '水稲' (Paddy). There's also a section labeled '重油タンク' (Heavy Oil Tank). At the bottom, there's a section labeled 'たい肥倉庫' (Fertilizer Warehouse). The entire area is surrounded by a boundary line, and there's a label '圃場' (Field) at the bottom right.

【やったこと】

整理整頓から5S活動への誘導

なぜ5Sが大切なのか

▼ 整理・整頓は能率と安全の基本である

- ・ 探す時間が少なくなる
- ・ 間違えることが少なくなる
- ・ 無駄な作業
- ・ 異変に早く
- ・ 危険な作業

▼ 清掃・

- ・ 微生物汚染
- ・ 異物混入
- ・ 化学的汚染

▼ 躰（習）

- ・ ルールをま
- ・ 皆が同じ

○最後に、GAPに関わる全てのみなさんに必

GAPの第一歩は整理整頓

「丸一日、捨てる作業

(過去の自分と向き合う事)をしましょ

○整理整頓のコツ

①物を捨てる

= 自分を見つめ直す時間
(必要なモノを見極める時間)

掃除

整理整

GAP= 継続的な改善活動
⇒ 自分たちの改善ルール

GAP(チェックリスト等)に、何のメリット
(そんな大変なこと生産者にさせられない

GAPの指導員研修で資格を取得!!
(項目が多くて大変そう)

ここを意識しながら
掃除すると...
劇的な心境の変化

整理整頓 4箇条

その昔 モノを

その昔 全ての

その昔 モノを

その昔 整理整

みやざきブランド産地のGAPルール

5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、セーフティー)

により、作業の効率化とリスクの軽減に取り組みます。

整理

場所や物を区別し、不要なものは適正に処理する。



整頓

道具や資材、農薬等は定位置に置く。



清掃

ほ場や作業場、倉庫、トイレ、防除器具等を常にキレイにしておく。



清潔

衛生管理を徹底し、清潔を保つ。



セーフ

作業内容の確認と機械等の点検を行い、農作業事故を防止する。



※GAPとは、農業において、食品安全や環境保全、労働安全等を確保するための生産工程管理のことです。農作業の取組状況を記録簿や掲示物で確認・表示しながら、農業活動を改善することで、より良い農業経営を実現する取組です。

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JA宮崎経済連)

【やったこと】



片付け前



搬出



搬出後



仕分け①



仕分け②



再配置①



再配置②



【やったこと】

現状と適合基準との照らし合わせ

1. 組織の目的、目的を達成するための手段の決定など 2. 組織の構造、組織の機能の決定 3. 組織の運営 4. 組織の発展	1. 組織の目的、目的を達成するための手段の決定など 2. 組織の構造、組織の機能の決定 3. 組織の運営 4. 組織の発展	1. 組織の目的、目的を達成するための手段の決定など 2. 組織の構造、組織の機能の決定 3. 組織の運営 4. 組織の発展	1. 組織の目的、目的を達成するための手段の決定など 2. 組織の構造、組織の機能の決定 3. 組織の運営 4. 組織の発展	1. 組織の目的、目的を達成するための手段の決定など 2. 組織の構造、組織の機能の決定 3. 組織の運営 4. 組織の発展
--	--	--	--	--

[illegible]

アンケート結果や、特別栽培農産物に係る表示ガイドラインに基づく取組みなど、GLOBAL G.A.P.の要求事項にひとつずつ照らし合わせ、

- ①既に対応できている項目
- ②現在の仕組みで読替えできる項目
- ③不足分を追加すればよい項目
- ④一から整理が必要な項目

を各JA毎に実施し、経済連とJAとで役割分担を整理した。また、QMS等
団体認証運用ルールとして共通管理できる項目についても協議を行った。

[illegible][illegible]

【やったこと】

各種研修会の開催

生産者が集う機会(現地講習会・販売方針検討会)にあわせ、
GAP関連の研修会(救急救命研修・掲示物説明等)を実施。



【やったこと】

JA選果場の研修

リスク評価の対象は生産者のみならず。当然JAの選果場も
認証対象となるため、関係者への研修を実施。



【やったこと】

圃場リスク評価と内部検査

4. 圃場名: 東

5. 周囲の状況: 下記の通り

北側

家

畑

水田

西側

東側

水

稲

※確認事項

生物的风险 (S) → 動物・植物と
化学的风险 (K) → 農薬・肥料
物理的风险 (R) → 地形、気象条件
問題なし: 0点 問題あり: 1点 問題あり: 2点 以上を記入してください。

生産者起因リスク
記録簿が専用であり、洗浄を
記録簿が共用であるが、洗浄を
記録簿が共用であり、洗浄も

6. 生産者起因リスク (B) 0 点

7. 化学的リスク評価 合計点 (A+B) 3 点 ※合計点(残留農薬)

8. その他:

① 圃場確認で気づいた点

② 水源の内容
※水源の場所は該当する場所に (水) と記入してください。

③ 20m以内でのたい肥倉・畜舎の有無 有



改善依頼書

期限を設定して、
改善していきましょう！！

確認日: 令和 元年 10 月 25 日

JA: [REDACTED]

生産者名: [REDACTED]

内部検査員名: [REDACTED]

○内容

① 燃料類のトレーの設置 1/9 〇

② 防護服等の置き場を決める 1/9 ×

③ 肥料置き場の移動 1/9 〇

④ 液剤農薬のトレーの設置 1/9 ×

⑤ 掲示物の設置 1/9 〇

⑥ 収穫・出荷コンテナの下に敷く物を準備する (直置きしない) 1/9 〇

【やったこと】

内部監査

内部検査を実施していない資格者に内部監査を依頼

Code Ref: IFA V5.2_Mar19; English Version
Section: 2.QMS
Page: 14 of 16

GLOBALG.A.P.

N°	管理点	適合性 (yes/no)	適用 除外	根拠/コメント
b)	手順の中で、回収が必要となる事例、回収の可能性のある生産物について責任者について特定し、顧客とGLOBALG.A.P.承認済みの認証機関の仕組み、在庫量の割合について具体的に述べていますか。			
c)	この手順は、いつでも適用可能な状態になっていますか。			
d)	最近年1回、この手順の有効性を適切な方法によってテストしていますか？テストの結果は、記録をつけていますか。			
QM 10	外部委託業者			
a)	第三者に外部委託する業務は全て、GLOBALG.A.P.認証の要求事項に準拠することを確実にする手順書がありますか(AP 5.1参照)。			
b)	外部委託業者の力量評価を行い、規格要求事項への適合を確認して、必ず記録を保持していますか。			
c)	外部委託業者は、この申請書のQMS、および関連する手順に従って業務を行いますか。また、このことが、業務レベルの合意書または契約書に明記されていますか。			
QM 11	認証書への新たな生産者やPMUの追加			
a)	新たな生産者/生産サイトを承認済生産者/生産サイトリストに追加する前、新規用(パートB)に適合した内部承認手順に従っていますか。			
b)	承認済生産者リストへの生産者や生産サイトの追加や削除があった場合にグループから認証機関に連絡していますか。			

Code Ref: IFA V5.2_Mar19; English Version
Section: 2.QMS
Page: 15 of 16

Code Ref: IFA V5.2_Mar19; English Version
Section: 2.QMS
Page: 11 of 16

GLOBALG.A.P.

N°	管理点	適合性 (yes/no)	適用 除外 N/A	根拠/コメント
	チェックリストのコメント欄に、検証した事項について詳しく書いていますか。 1. 適合とされたメジャーの管理点 2. 不適合とされたメジャー・マイナーの管理点 3. 適用除外となったメジャー・マイナーの管理点(ただし、GLOBALG.A.P.によってあらかじめコメントの必要な管理点と適合基準が指定されている場合を除く)。 これは、検査実施後に検査結果を再検証する際に必要です。			今後
	不適切内容の記録、および修正措置の実施記録 適合レベルの計算結果と検査結果	X		記録は保存済み
	検査にかかった時間数	O		検査時間
	チェックリストの内容を承認した内部監査員の氏名	X		氏名は記入済み
h)	内部監査員が提出した検査報告書に基づいて、生産者がGLOBALG.A.P.規格に適合するかどうかの判断を内部監査員(もしくは内部審査チーム、一般規則パートB、文法項を参照)が下していますか。	X		3日目の日付に記入
i)	内部監査員が1名しかおらず、内部検査も行っている場合は、QMSで指定した他の人物、たとえば管理部門代表者が、内部検査の承認を行っていますか。		O	2名で承認済み
j)	内部検査を12か月の期間内に継続して実施する場合、あらかじめ決められたスケジュールがありますか(初回は外部審査では適用除外)。		O	スケジュールあり
QM 7	不適合、是正処置、処分			
a)	内部監査や外部審査、または内部検査や外部検査で見つかった不適合と是正処置、顧客からの苦情、またはQMSの欠陥への対応手順がありますか。		O	対応手順は作成済み
b)	グループ/オプション1マルチサイト事業者のQMSへの不適合、またはそのメンバーや生産サイトによるQMSへの不適合を特定し、評価するための手順を文書化していますか。		O	内部検査が最長(最長)の期間(1年)に1回
c)	不適合に対する是正処置内容の評価を行っていますか。是正処置の実施期限を決めていますか。	X		実施期限は1年以内

Code Ref: IFA V5.2_Mar19; English Version
Section: 2.QMS
Page: 11 of 16

GLOBALG.A.P. via FoodPLUS GmbH
Spichernstr. 55, 50672 Cologne, Germany
www.globalgap.org

【本番】

令和2年3月2日から1週間に渡り審査を受ける。



【指摘事項】

当然指摘事項はある。

SGS CORRECTIVE ACTION REQUEST

Approved: Soumik Mondal
(Manager – Food Certification)

Organization: 宮崎県経済産業協同組合連合会 Miyazaki Agricultural Economic Federation	Site(s) audited: 宮崎県宮崎市青島1丁目 1-1-1 Kinkima, Miyazaki-shi, Miyazaki-ken, Japan	Date of Audit: 2020年3月2-6日 2-6	Standard(s): GLOBAL G.A.P. IFA 5.2-CPCC V 5.2 AF/CR/FR/GR/IR/PR/QR/RR/VR/WR/XX/YY/ZZ
Organisation Representative: 代表取締役 部長 Farm Dept., Manager 原 健二 様 Mr. Kenji Hara	Lead Auditor: 横井 秀行 Hideaki Yokoi	Auditor: 角田 大輔 Daisuke Kakuta	

CAR GRADE E MA/ MV/RE	Area/ Department process	Standard Ref.	Details of non-conformity	Root Cause Analysis & Corrective action taken (verified & recommended completed by client) 発生原因の分析と 是正処置の実施 (顧客記入)
MA MA	外部委託 業務	QM10 AF5.1		

SGS INDIA PVT. LIMITED

SGS CORRECTIVE ACTION REQUEST

Approved: Soumik Mondal
(Manager – Food Certification)

CAR GRADE E MA/ MV/RE	Area/ Department process	Standard Ref.	Details of non-conformity	Root Cause Analysis & Corrective action taken (verified & recommended completed by client) 発生原因の分析と 是正処置の実施 (顧客記入)
MA	構造	QM2.1		
MA	生産物の トレーサ ビリティ 青果セン ター	QM8 a)		
MA	生産物の トレーサ ビリティ 青果セン ター	QM8 b)		
MA	異物混入 青果セン ター	FV5.4.2		
MA	害虫害獣 駆除 青果セン ター	FV5.6.2		

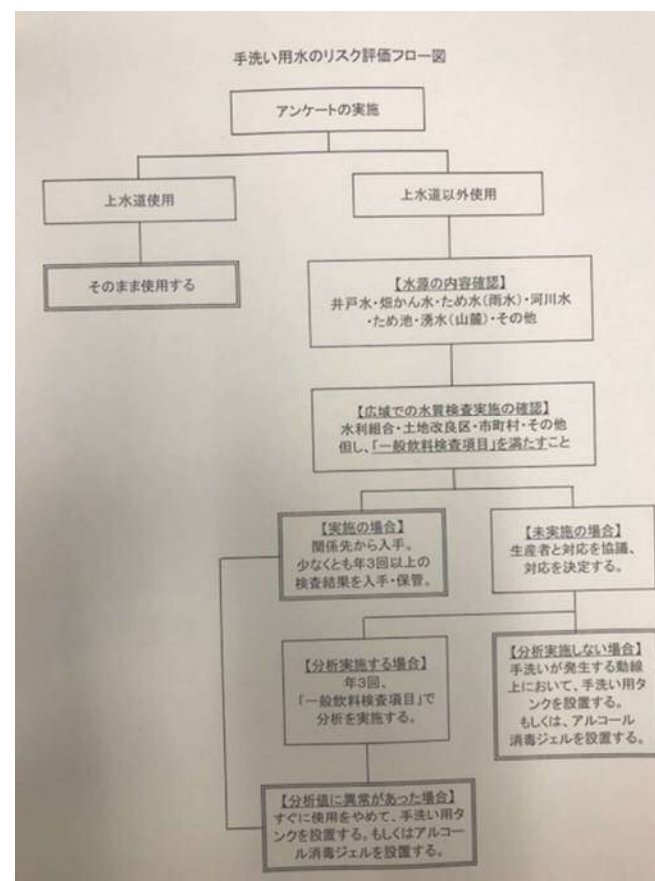
SGS INDIA PVT. LIMITED

RE-IN-CSE-QU-01/Version: 1.0/18.08.2016/ Page 2 of 3

【やったこと】

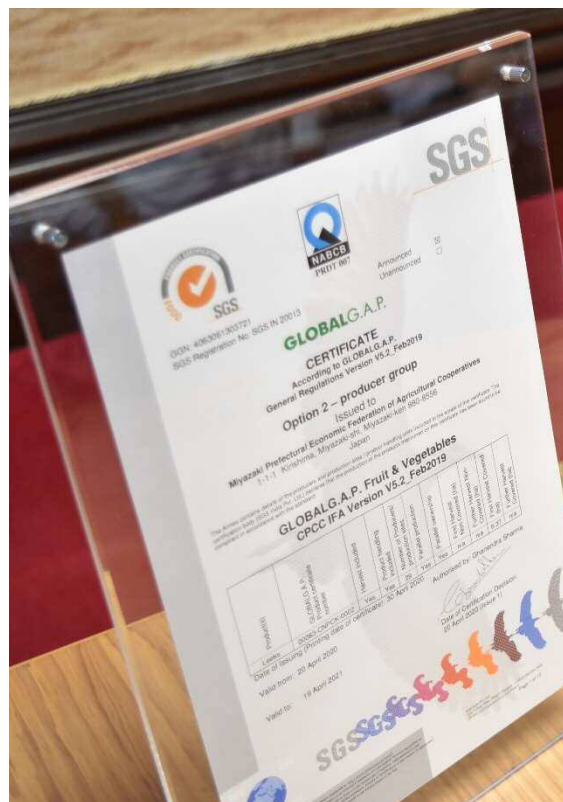
是正措置の検討

指摘事項に対して、JAと協議。共通事項については経済連主導で、各品目毎に指摘されたことはJA主導で是正措置を整理。

[illegible]

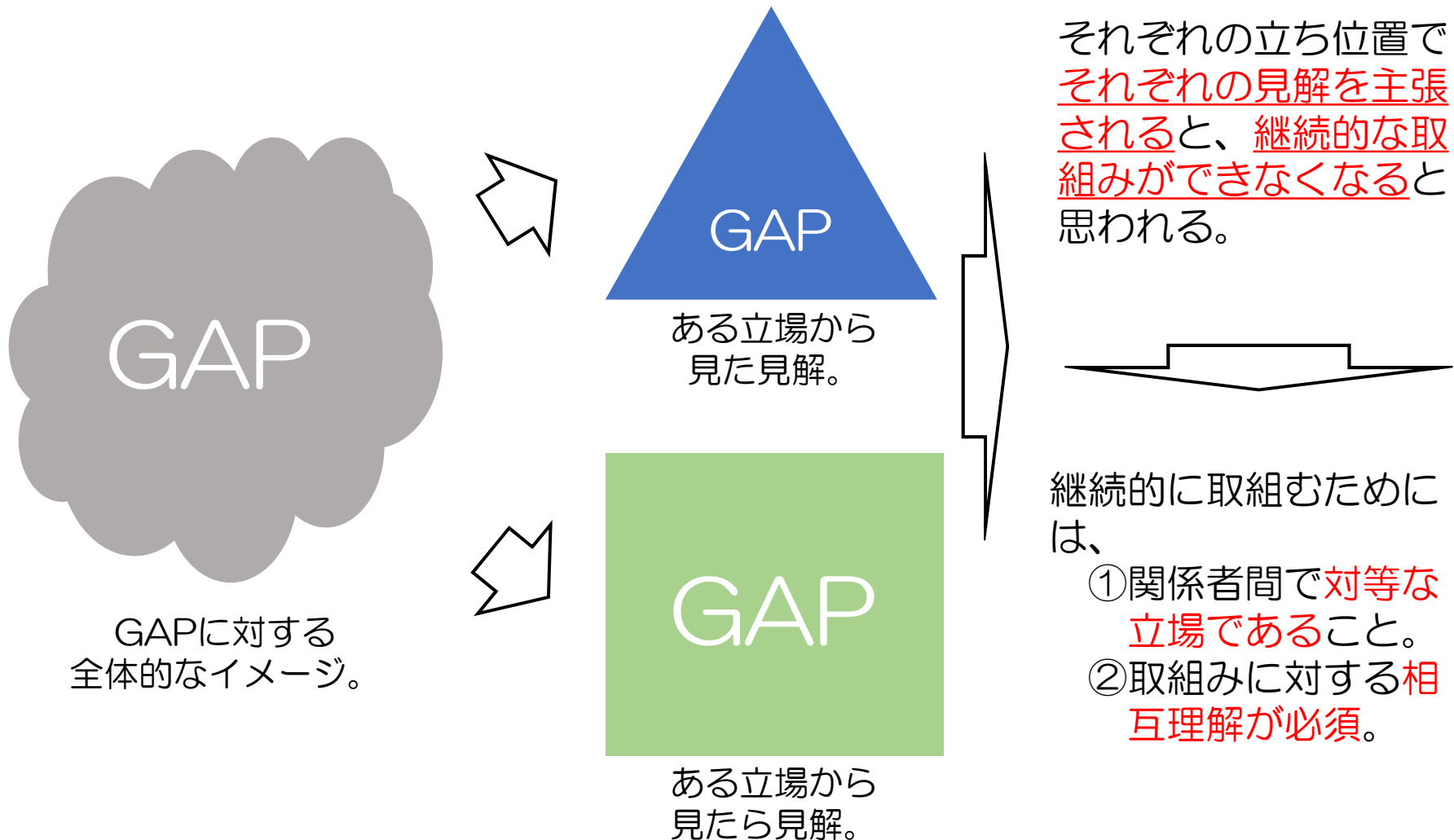
【結果】

令和2年4月20付けで4JA4部会86名及びJA宮崎経済連を含んでGLOBAL G.A.P.の団体認証を取得



【感じたこと】

GAPに対して、それぞれの立ち位置で見解が異なる。



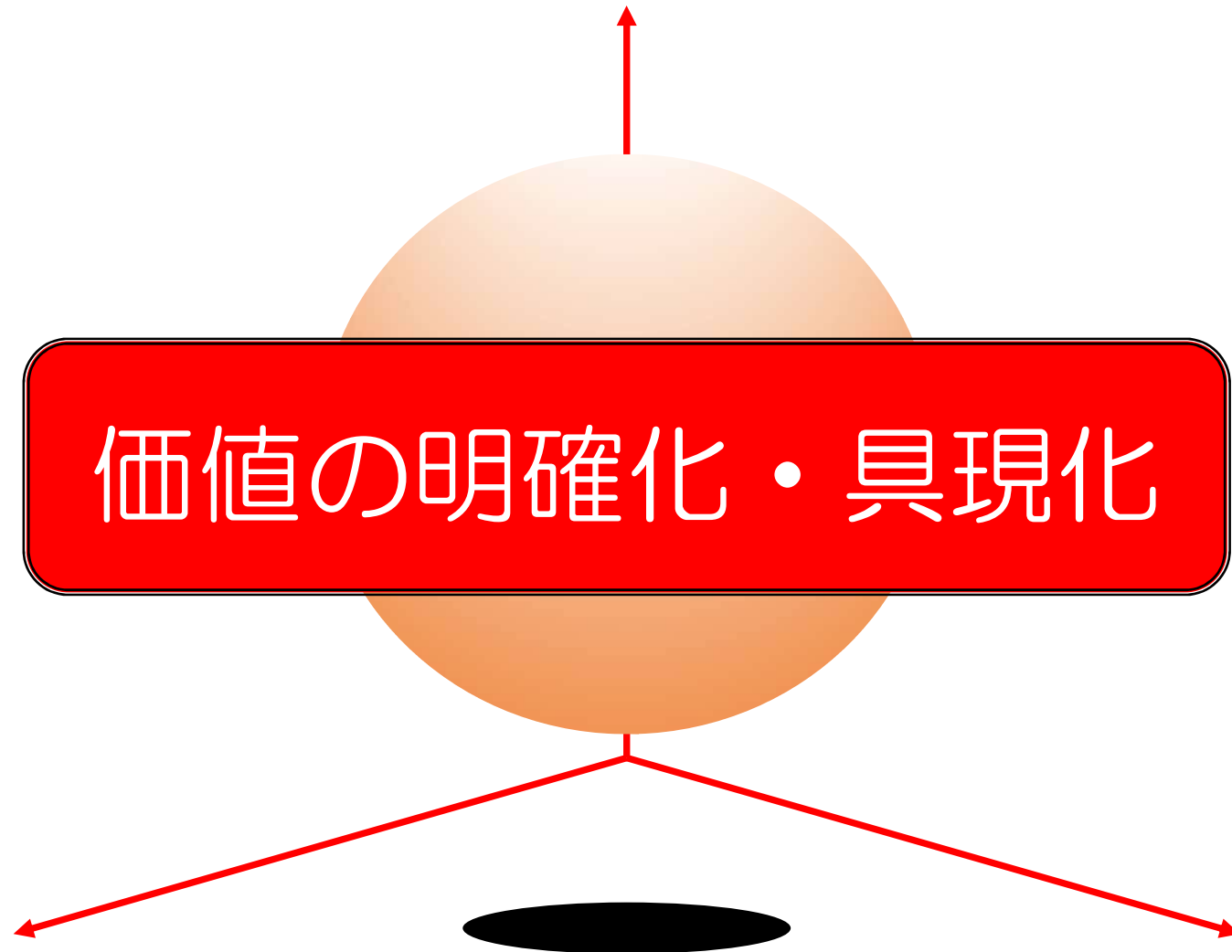
【理想】

生産面の見解

価値の明確化・具現化

販売面の見解

行政面の見解



【令和2年度取組み】

改善活動の継続

各生産部会・JA・経済連各部署毎の見直し

各生産部会

⇒整理整頓・勉強会への参加・JA以外への出荷量把握
・肥料農薬の在庫記録・各種機器類点検 等

+

是正措置事項、自己改善活動

JA

⇒CPCCの関連事項の生産者指導・各JA選果場改善
・内部検査の実施 等

+

是正措置事項、自己改善活動

経済連

⇒全体事務局・CPCC/QMSの解釈と整理・検査員育成研修
実施・各種研修会の開催・内部監査の実施 等

+

是正措置事項、自己改善活動

【おわりに】

GAPの目的は「持続可能な農業の確立」

個人的な見解ですが、GAPに関する「関係者の立ち位置と理解度」がまだ不十分と感じる。

⇒「経営改善」を強調されても生産者が取組める内容には限度がある。

⇒「東京2020」の食材調達基準がきっかけとなっても、その後の継続をどうするのか…。

⇒「認証制GAP農産物」に関する消費者及び関係者の認知度はどうなのか……。

最終目的は「生産面でも経営面でも持続可能な農業の確立」